

# ● なかがみの昔を語る会 開催

第4回「なかがみの昔を語る会」は10月27日（土）に、昭島市立朝日会館で開催しました。（参加者39名）

今回のテーマは「中神坂を通る奥多摩街道の旧道を探る」です。これは、奥多摩街道の起点である「立川市日野橋交差点」から中神坂を通り、拝島三叉路までの旧道とその周辺地域に関する話です。しばしの時間、参加者の皆様と郷土の歴史探策の旅を共有することができました。



▲講演：郷土歴史研究者 菅原 文夫 氏

ここでは、話の一部を少し紹介しておきます。

(1) 最初に、資料として中神とその近隣を含む2枚の地図が配布された。

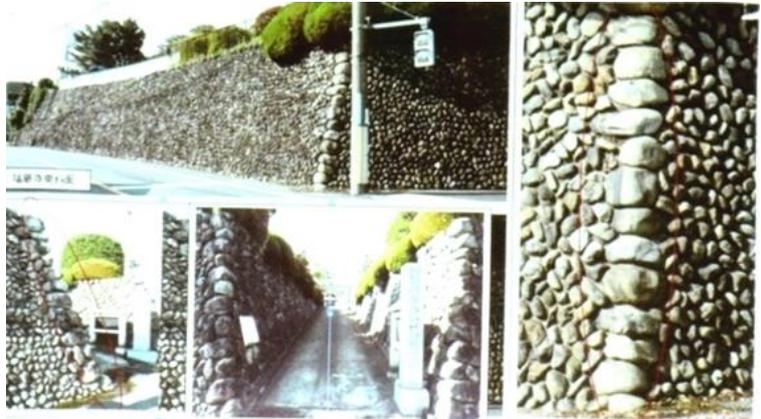
明治39年の古い道路地図と現在の道路地図です。まず現在の道路地図上に記載されている、主な交差点やお寺、そして主要な建物17箇所に番号が付けてあった。この番号が、明治39年の道路地図上の当てはまる位置にも書き込まれていた。そうすることにより、現在の道路地図上の17箇所の位置が、古い道路地図上にも反映され、そこから、多岐にわたり話が進んでいった。

(明治時代から利用され、現在に至る道路も多数見受けられた。話を伺った後は、歩くたびに、明治時代から利用されてきた古道なのか、あるいは新しくできた道路なのかと、考えることが楽しみになってきた。)



▲ 昭和39年東京オリンピック聖火ランナーが中神坂を走る

(2) 中神坂の道路両脇に積み上げられた石垣と、福厳寺の石垣について説明された。尚、石垣は城を守る要塞として、構築技術が発達した。石材の加工の方法や積み方によって石垣は分類される。一例として・野面積み(のづらづみ)・算木積み(さんぎづみ)・亀甲積み(きっこうづみ)・玉石積み(たまいしづみ)…等々。石垣は時代とともに変化していった。石垣を観察することにより、構築された年代が推定できる。



▲中神坂の石垣

(3) 改良工事前の中神坂は10m程の高低差があったといわれていた急な坂道で、当時は交通の難所だった。ツルハシ、スコップ、ねこ車などを使い、改良工事を行った。道路際の石垣には多摩川の自然石が利用され、昭和6年に今の道ができた。一つの失業対策事業にもなった。私たちが住んでいる街なので、参加者の皆様から活発な質問が多く出ました。特に中神坂周辺に住んでおられる方は、自分たちの記憶や言い伝えを皆様に紹介しながら、郷土史探策の旅を楽しんでいました。

(地域活動部会 / 鈴木正俊)

## 12月・1月活動予定

催事案内		日程		開始時間	場所	
市民会議なかがみ	臨時総会	12月	20日(木)	午後7時～	市民交流センター3階会議室	
活動支援部会	サロン あさひ楽笑	1月	18日(金)	午前9時30分～	朝日会館第2集会室	
部会名		日程		開始時間	場所	部員数
運営委員会		1月	10日(木)	午後7時～	朝日会館第2集会室	
地域活動部会	定例会	1月	8日(火)	午後7時～	朝日会館保育室	61
防犯防災部会	定例会	12月	25日(火)	午後7時～	市民交流センター活動室	24
街並み部会	定例会	1月	16日(水)	午前10時～	玉川児童遊園	18
国際交流部会	定例会	1月	11日(金)	午後3時～	市民交流センター活動室	25
芸能部会	定例会	1月	20日(日)	午後3時～	朝日会館保育室	13
広報部会	定例会	1月	4日(金)	午後7時30分～	市民交流センター活動室	9
自然と親しむ部会	定例会	12月	26日(水)	午後7時～	市民交流センター活動室	27
活動支援部会	定例会	1月	18日(金)	午前11時30分～	朝日会館第2集会室	10

※発行月第4週～翌月の活動予定です。記載のない部会は、事務局にお問合せください。